

平成 25 年 1 月 21 日

1 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は平年を上回る入荷量。スギは柱材、中目材とも好調な引合。ヒノキの柱材は順調な引合い、中目材は弱い。価格は全般に横這い。スギの柱材は保合、中目材は強保合。ヒノキの柱材は保合、中目材は弱保合で値下げ。群馬の製材工場の操業状況はやや低調。原木の入・出荷、原木在庫とも特に問題なし。株価上昇等から明るさを見る向きもあるが、地場工務店筋は受注弱く、問屋筋から製品不足が聞かれるのみ。県の家づくり補助事業も前年比で苦戦。県内製品市場では、問屋の撤退や製材工場の休・廃業も聞かれる。

2. 米材

11 月の米国新設住宅着工は、前月比 3.0%減の年率 86.1 万戸。米国丸太は地場製材需要が引続き旺盛、中国の買も継続し、価格は強含み。カナダ丸太は伐採量が減少し、オールド、セカンドとも価格は強い。産地の港頭在庫は、出庫順調で 12 月末は減少の模様。ウェアハウザー社の 1 月積み米マツ IS ソートは前月比 10\$ アップ。米材丸太の入・出荷、在庫とも横這い。国内大型港湾製材工場の 12 月の動きは引続き好調。内陸部製材工場の荷動きは低調、当用買が続く。製材品の TLT(東京木材埠頭) 12 月入荷量は、40.9 千 m^3 で前月比 5.8%増。出荷量は 44.6 千 m^3 で同 8.9%増、在庫は同 6.5%減。産地情勢は、米国財政の崖懸念から各サプライヤーが慎重な生産量を維持する中、北米地区の需要は引続き旺盛で、例年のような冬場の不需要期の中弛み感は見られず、ランダムレングス誌の指標価格は \$ 380 を突破し、6 年ぶりの高値圏。今後春の需要期を控え、更に一段高もある状況下で、当面大きな落込みは考えにくい。産地高、為替変動は今後の市況に大きな影響を与える見込。

3. 南洋材

サバは雨季と市況悪化に伴う伐採調整により、原木の出材量は大幅に減少、春先の影響が懸念される。法改正による最低賃金の上昇と原木高により現地製材工場は人員削減、生産調整が進み、2 月の旧正月以降の玉はかなり減少するが、

需要低迷と為替変動を受け日本バイヤーは慎重な買付け。サラワクも同様に出材量が減少し、今後の影響が予測される。特に労働者不足と賃金上昇は操業に大きな影響を与えることから、製品価格への転嫁が叫ばれ、日本側との綱引きが続く。PNG・ソロモンは引続き中国等のマーケットからの引合悪く、出材・価格ともに低迷。南洋材丸太の入・出荷、在庫は減少。製材品の入荷は横這。原木の販売は合板・製材用とも低迷。製材品は為替の大幅な下落により今後価格上昇は必至。

4. 北洋材

ロシア極東は冬将軍到来が遅れ、伐採・出材に深刻な影響が出たが、12月に入り解消し本格的な冬山造材が始まる。シッパーの数が限定的で、中国向け貨車渡が好調なので、価格は高止まり。シベリア地方は逆に12月は記録的な大寒波で伐採が大幅減少の様相。新設の輸出枠獲得の混乱で日本・中国向けとも大幅な納期遅れ続く。現地製材工場も含め原料不足は今後暫く続く模様。富山新港の12月丸太入荷量は6千 m^3 （エゾマツ3千 m^3 、カラマツ1千 m^3 、アカマツ2千 m^3 ）、製品も6千 m^3 で前月比88%の大幅減。丸太・製材品とも入荷不足と急激な円安で、価格は強含み。丸太の荷動きは順調、製材品も回復。在庫状況は0.5ヶ月位で変わらず。国内製材工場の採算状況はエゾマツ、アカマツとも不採算。稼働状況は原木入荷減少で生産調整。

5. 合板

国産材丸太は、先月同様多めの手当が続き、メーカーの在庫は増加傾向、価格は強含み横這。米材、北洋材丸太は、為替分のみ上昇、南洋材は最低賃金制を絡めた値戻しとなり、強含みで推移。11月の国内合板生産量23.4万 m^3 のうち、針葉樹合板は21.5万 m^3 、出荷量は22.4万 m^3 で、ともに2012年最高水準。前月に比べ生産量は微増したが好調な出荷で、在庫量は17.9万 m^3 に減少し、メーカーによっては品薄や欠品品目が増加。販売価格は、各メーカーともに豊富な受注残と諸資材費高騰を理由に段階的に値戻しを進める様子。年始めはぐずついた相場展開となるが、仕事のずれ込みや好調な直需を背景に今回は例年と異なるとの見方が多く、在庫も少なくメーカー主導による価格展開となる見通し。国産針葉樹合板は前月同様に引合は活発だが配車確保が困難で、納期待ちの状態となり年末納入が年越しとなっている。旧値は払拭され着実に値戻しは浸透し、市場では早目の手当てが続く。輸入合板は川上では一段と強含みのムードが高まっている。商社筋は産地動向や円安を背景に価格転嫁を急速に進めており、全般に引き締まっている。国産、輸入とも、価格は冬場の実需にも期待でき、明るい材料も多いことから堅調な展開は暫く続く見通し。

6. 構造用集成材

原料・ラミナの入荷は WW が不安定。暖冬の影響で伐採が遅れ、現地のクリスマス休暇も重なり、出港遅れたが、現在は順調に出材が進み、休明けの生産は順調。3月以降の入荷は安定する見込。価格動向は、欧州の不況は根が深く、年明けも続いている状況から、現地での減産及び適正価格までの値戻し圧力が続き、前 TQR からの値上げを唱える動き。輸入集成材も非常に強固な値戻しを唱えており、需要の動きから価格を通して契約が進む。円安から円ベースでの値上がりが顕著で 5,000 円～8,000 円/m³の値上がり幅。国産集成材の受注は良く、販売・荷動きも良い。在庫は少ない。特記事項として集成材梁桁は、中手メーカーの大幅減産と輸入材の減産、入荷遅れで品薄感が一気に広まる。特に、関東と東北が顕著、中京・関西の品薄はこれからと予想。

7. 市売問屋

国産材の構造材は昨年末よりスギ、ヒノキの柱・間柱の動きが良く、相場を押し上げるまでには至らないが先行きに明るさが出ている。造作材はリフォーム需要増により小口ながらスギ、ヒノキとも堅調。建具材も良材は動き良い。外材の構造材は WW 間柱や内地挽き米ヒバ土台等一部製品に品薄感があり、引合い増える。造作材はスプルーース及び巾広の米ヒバ良材の入荷少なくニーズに対応困難な状況。販売状況は市日来場者に大きな変化なく、手持の仕事が増えている買方の買気が若干増え、先行きに期待感が漂ってきている。消費税の引上げ駆け込み需要等今後動きが活発化、鮮明化する可能性が大きく、業界の期待は大。

8. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱、小割、板割、ヒノキ KD 柱、土台いずれも保合。外材は米ツガ KD 平割、正角とも保合、ロシアアカマツ垂木は保合、WW 間柱は強保合。造作材はスプルーース、ナラ、タモの平割良材少なく引続き強保合。WW、RW 集成材は梁、柱とも保合。針葉樹合板は強保合、ラワン合板は保合。床板、フローアは変わらず。プレカット工場の動向は、12月の仕事がずれ込み1月も忙しい。工務店は昨年より仕事が出ている模様。製材品、合板ともに強含みで、見積りには気をつけたい。

1月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ カスケード(カナダ産)	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↗
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	↗	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	↗
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	↗
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↑
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↑
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
	スギ 無化粧		↗	
	欧州産	〃	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗